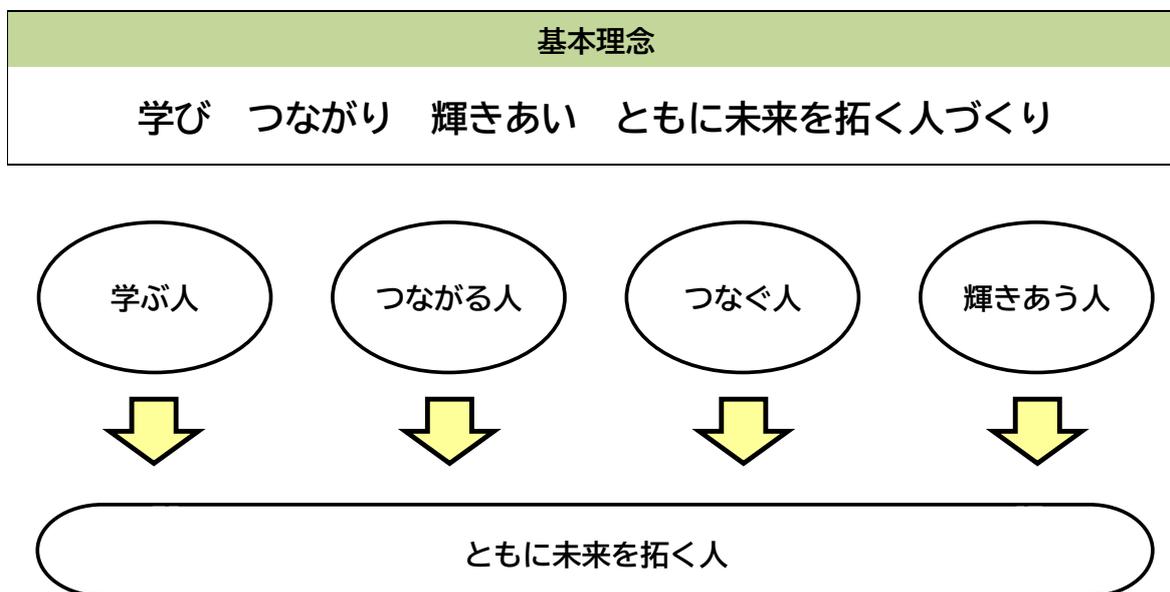


# 第5章 施策の展開

## 1. 計画の体系



### 基本目標及び施策一覧

<b>基本目標1</b> 「学ぶ」人づくり	<b>施策1</b> 夢や希望に 向かって挑戦する	<b>施策2</b> 生涯にわたって 主体的に学ぶ	
<b>基本目標2</b> 「つながる」人づくり	<b>施策3</b> 他者と 協働・共生する	<b>施策4</b> 社会の一員として 活躍する	<b>施策5</b> 多面的な視野を 身に付ける
<b>基本目標3</b> 「つなぐ」人づくり	<b>施策6</b> 郷土の自然や歴史 を大切にする	<b>施策7</b> 伝統文化を 継承する	<b>施策8</b> 文化を 創造する
<b>基本目標4</b> 「輝きあう」人づくり	<b>施策9</b> 多様な価値観を 認めあう	<b>施策10</b> 互いの可能性を 高めあう	

### 重点事業の設定

具体的な取組の中で、より優先的・重点的に取り組む事業を「重点事業」として設定し、積極的な推進を図ります。対象事業は、次ページ以降の主な取組において【重点】マークで示します。

## 2. 具体的な取組

### 基本目標1

## 「学ぶ」人づくり

### 施策1 夢や希望に向かって挑戦する

#### 【施策の方向性】

夢や希望は、人生に勇気と活力を与えます。年齢を問わず人生の時々で自分のやりたいことを思い描き、その実現に向かって意欲的に学び、努力できる人を育成します。市民のよりよい未来を拓く学びを実現する学習環境の整備に取り組みます。

#### 【成果指標の設定】

小学生・中学生

将来の夢や目標を  
持っている

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 81.4% 中学生 66.8%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

自分で計画を立てて  
勉強している

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 74.5% 中学生 51.8%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

難しいことでも  
失敗を恐れないで挑戦している

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 66.0% 中学生 65.3%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

自分でやると決めたことは  
やり遂げるようにしている

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 84.4% 中学生 86.8%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

興味のあることを  
たくさん勉強したいと思う

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 60.3% 中学生 42.0%  
【計画アンケート調査】

教職員

教職員として  
やりがいを感じる

< 現状値（令和4年度）>  
小学校 83.4% 中学校 80.0%  
【計画アンケート調査】

※令和4年度は「生きがい」として調査（P27）

## 【主な取組】

### 1. 資質・能力を育む教育の推進

子どもたちが夢や希望を実現するための基盤となる資質・能力の向上を図ります。

#### ● 確かな学力の育成【重点】

学ぶ意義を実感し、進んで学習に取り組む子どもを育成します。これまでに培った義務教育9年間を見通した系統的な視点をいかした学習指導を推進します。

各校がICTを有効に活用して、「個別最適な学び\*」と「協働的な学び\*」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に取り組めるよう、支援します。

#### ● キャリア教育\*の充実

特別活動\*を中心とし、各教科等の特質に応じて、地域と連携した体験活動にも積極的に取り組みながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成します。

また、学校の教育活動全体を通してキャリア教育の充実を図ることができるよう、全体計画の作成やキャリア・パスポート\*の活用促進等、各校の取組を支援します。

#### ● 健やかな体の育成

生涯にわたり健康で充実した生活を送るため、自らの心と体の状態について関心を持ち、正しい知識や対応を身に付けられるよう、健康診断や健康教育等の活動を推進します。

子どもたちが楽しく安心して運動することができるよう、体育科授業の充実を図り、主体的に運動に親しむ態度を養います。また、新体力テストの結果から、子どもたちの体力の現状と課題を分析し、研修会や授業研究会を通して、体力や運動能力の向上に関する取組の改善を図ります。

食に関する興味・関心を高め、望ましい食生活習慣を身に付けられるよう、「食に関する指導の指針」を作成し、食に関する指導を推進します。また、多彩な副菜からなる「ちば型食生活」を推進する等、安全・安心でバランスのとれた栄養豊かな献立を提供し、学校給食の充実を図ります。

\*個別最適な学び：「指導の個別化」と「学習の個性化」を学習者視点から整理した概念。これを教師視点から整理した概念が「個に応じた指導」であり、ICTの活用も含め、児童生徒が主体的に学習を進められるよう、それぞれの児童生徒が自分にふさわしい学習方法を模索するような態度を育てること。

\*協働的な学び：探究的な学習や体験活動などを通じ、子ども同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する学び。

\*特別活動：学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事、小学校のクラブ活動で構成される。

\*キャリア教育：一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

\*キャリア・パスポート：学習や活動の内容を記録し、児童生徒が自らの学習状況等を見通したり振り返ったりするために作成する資料。

## 2. 教職員の教育実践力の向上

教職員の心身の健康を保持し、分かる授業を展開するために必要な専門知識や指導技術の習得を図ります。

### ● 教職員研修の充実【重点】

最新の専門知識や指導技術等を身に付けた教職員を育成するため、学校が抱える課題に応じた研修内容を設定し、教職員研修の充実を図ります。

また、子どもたちの資質・能力を育むためのICT機器の利活用や学びあい等をテーマに研究指定を行い、その成果を全校で共有することで、教職員の授業力向上を図ります。

### ● 働き方改革の推進【重点】

教職員が子どもたちと向き合う時間を確保し、真に必要な教育活動を効果的かつ持続的に行うことができるようにするため、人的支援、教育課程の見直し、ICT環境の有効活用、心身の健康の促進を進め、教職員の負担軽減・事務の効率化により、勤務時間・在校時間の適正化に向けた学校の業務改善を支援します。

## 3. 教育環境の充実

子どもたちが安心・安全に学べるよう、よりよい教育環境を整備します。

### ● 学校施設の充実【重点】

学校施設の防災機能を含めた老朽化対策を進めるとともに、特別教室への空調設置やトイレの乾式化\*等、快適で誰もが使いやすい施設環境を整備します。

築年数が40年を超えた建物から、利用状況や老朽化の状況に応じた改修を計画的に進め、安全・安心でよりよい教育環境を整備します。

### ● 学校安全体制の充実

安心・安全な学校で子どもたちが生き生きと学ぶために、各学校の「学校安全計画」や「危機等発生時対処要領（危機管理マニュアル）」を適宜更新し、災害等発生時に迅速かつ適切に対応できる体制を整備します。

また、子どもたちが日頃から安全に対する意識を高く持ち、緊急時には主体的に判断し、より適切な行動ができるよう、家庭や地域とも連携しながら「自助」「共助」の視点を持った安全教育を推進します。

\*トイレの乾式化（乾式トイレ）：屋内の他の部屋と同様の建材で床や壁が構築されており、水を用いて洗い流す清掃法が念頭に置かれていないトイレ。⇔湿式トイレ

### ● 通学路の安全確保

通学路における子どもたちの安全を確保するために、「四街道市通学路交通安全プログラム」に基づく取組を推進します。各学校から報告された通学路上の危険箇所を集約し、学校・地域・関係機関と合同で現地確認を行い、具体的な対策の協議や必要な改善要望を行います。

また、警察機関や家庭と連携し、子どもたちの発達段階に応じた交通安全教育を推進します。

## 4. 夢を育む取組の推進

優れた才能にふれる機会を設け、市民の学びに向かう意欲や向上心の高揚を図ります。

### ● 夢を育む機会の充実

将来に希望を抱き、自分らしい生き方を見出すことを促進するため、芸術文化やスポーツ等、様々な分野で優れた才能を持つ人から学ぶ機会を創出することで、夢に向かって努力しようとする心を育みます。

### ● 優れた人材の顕彰

教育、学術、スポーツ又は文化の振興に関し、優れた成果や成績を収めた市民及び教職員を表彰します。また、多様な媒体を活用し、表彰の内容を広く発信するとともに、優れた教育実践を教職員に紹介することで、市全体の教育意識の高揚を図り、一人一人の挑戦や豊かな学びを応援します。

### 【対応するSDGs】



## 施策2 生涯にわたって主体的に学ぶ

### 【施策の方向性】

自らの興味や関心を大切にしたい学びは、学習意欲を醸成します。学びの広がり、人生を豊かで幸せなものへと導きます。学ぶよさを実感し、生涯にわたって学び続ける人を育成します。人生100年時代を豊かに生きる上で、ライフスタイルに応じた学習に取り組めるよう、学び手の主体的な学習意欲を支える生涯学習環境の整備を図ります。

### 【成果指標の設定】

<p style="text-align: center;"><b>小学生・中学生</b></p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">読書が 好き</div> <p style="text-align: center;">＜ 現状値（令和5年度）＞ 小学生 77.6% 中学生 69.9% 【全国学力・学習状況調査】</p>	<p style="text-align: center;"><b>市民</b></p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">生涯学習に 取り組んでいる</div> <p style="text-align: center;">＜ 現状値（令和4年度）＞ 市民 74.6% 【計画アンケート調査】</p>
<p style="text-align: center;"><b>市民</b></p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">公民館（四街道、千代田、旭）の 利用者数</div> <p style="text-align: center;">＜ 現状値（令和4年度）＞ 85,007人 【点検・評価報告書】</p>	<p style="text-align: center;"><b>市民</b></p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">図書館の 利用者数及び貸出冊数</div> <p style="text-align: center;">＜ 現状値（令和4年度）＞ 93,282人（309,704冊） 【点検・評価報告書】</p>
<p style="text-align: center;"><b>市民</b></p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">総合公園（体育館、多目的運動場、野球場）の 利用者数</div> <p style="text-align: center;">＜ 現状値（令和4年度）＞ 141,262人 【点検・評価報告書】</p>	<p style="text-align: center;"><b>市民</b></p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">温水プールの 利用者数</div> <p style="text-align: center;">＜ 現状値（令和4年度）＞ 20,876人 【点検・評価報告書】</p>

## 【主な取組】

### 1. 生涯学習の推進

市民が主体的に学ぶ機会やこれを促進する情報の提供を行います。

#### ● 生涯学習の拡充【重点】

「四街道市生涯学習推進計画」に基づき、P D C Aサイクル\*による進捗管理を行い、事業の拡充を図ります。

また、多様な学習情報の提供、社会での活躍につながる学習相談への対応、学習者と社会をつなぐ仕組みの構築を図るために、生涯学習情報を集約した「まなびいガイドブック」を発行するとともに、「千葉県生涯学習情報提供システム（ちばりすネット）」を有効に活用することで、生涯学習に関する情報提供を強化します。

#### ● 市民大学講座の充実【重点】

学ぶよさを実感する市民を育むため、教養的な内容をはじめ、自己実現につながる講座や地域の課題発見・解決を目的とした講座等、多種多様な講座を市民や大学等と連携して企画・開催します。

また、誰もが、気軽に学習することができるよう、I C Tを活用した講座を導入します。

#### ● 読書活動の推進【重点】

読書活動を通して、言葉、感性、表現力、想像力、豊かな心、知る喜び等、市民が生涯にわたって学び続けるための力を育みます。

「四街道市子ども読書活動推進計画」に基づき、読書の好きな子どもを育てます。図書館では、乳幼児期から読書に親しむための機会を提供し、学校では、司書教諭を中心に教職員と学校司書が連携し、学校図書館を活用した授業の充実を図るとともに、家庭や地域と連携しながら、本の魅力を伝える活動を推進します。

また、図書館では、様々な年代や興味・関心に合わせた図書や電子書籍の整備、展示活動等を通して読書活動の充実を図り、市民の生涯学習活動を支援します。あわせて、貸出拠点の追加とりサイクル本の有効活用により、市民が本に直接触れられる環境を整えます。さらに、魅力あるイベント活動を通して、地域の情報拠点として図書館が機能することにより、市民の豊かで潤いある生活を促進します。

\* P D C Aサイクル：Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の4つのプロセスを繰り返すことにより業務効率を改善するためのフレームワーク。

## 2. 各種施設の充実

市民の生涯学習の拠点や場として施設の維持管理を行います。

### ● 公民館、図書館の管理運営【重点】

市民の身近な社会教育の拠点として、公民館及び図書館の適切な維持管理と老朽化対策を計画的に行い、利用しやすい学習環境を整備します。

公民館では、指定管理者と連携し、利用者の多岐にわたる学習ニーズに対応した講座等を展開することで、公民館事業の充実を図ります。

図書館では、大人や子どもたちが集中できる学習スペースを提供することで、市民の主体的な学びを支援します。

### ● スポーツ施設の管理運営【重点】

市民のスポーツ活動の拠点として、スポーツ施設の適切な維持管理と老朽化対策を計画的に行い、利用しやすい学習環境を整備します。

温水プールや総合公園体育館等では、スポーツを通して心身の発達や健康の増進を図るため、指定管理者と連携し、幅広い年代に対応した各種運動教室やスポーツ大会・交流事業を展開する等、身近にスポーツを楽しむことができる機会の充実を図ります。

### 【対応するSDGs】



## 基本目標2

# 「つながる」人づくり

### 施策3 他者と協働・共生する

#### 【施策の方向性】

人は人との関わりあいや対話の中で深く学び、成長します。他者につながり、ともに生きようとする姿勢は、社会の基盤です。様々な人々とよりよい関係を築き、協働する人を育成します。家庭・学校・地域の連携をはじめ、様々な立場の人との交流や社会貢献活動を通して、人と人が豊かに関わる学びを推進します。

#### 【成果指標の設定】

##### 小学生・中学生

友だちと協力するのは  
楽しいと思う

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 93.8% 中学生 93.1%  
【全国学力・学習状況調査】

##### 小学生・中学生

人が困っているときは  
進んで助けている

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 92.6% 中学生 88.3%  
【全国学力・学習状況調査】

##### 市民

家庭・学校・地域の連携は  
重要と思う

< 現状値（令和4年度）>  
市民 72.9%  
【計画アンケート調査】

##### 市民

地域の子どもたちを  
見守っている

< 現状値（令和4年度）>  
市民 40.0%  
【計画アンケート調査】

## 【主な取組】

### 1. 地域とともにある学校づくりの推進

地域とともにある学校づくりを通して、子どもたちの協働する態度を育みます。

#### ● コミュニティ・スクールの推進【重点】

学校と地域が一体となって子どもたちの健やかな成長を支えられるよう、よりよい教育環境をつくることを目指します。保護者や地域住民等が学校運営に参画することが可能となるコミュニティ・スクールの導入を推進し、全ての小中学校で学校運営協議会の設置を進めるとともに、活動の充実を図ります。

#### ● 学校支援活動の充実【重点】

子どもたちを取り巻く環境や学校が目指す目標を地域と共有し、地域人材をいかした教育活動を推進します。学習活動、安全・安心確保、環境整備等、学校ボランティアの活動を支援するとともに、地域の人材バンクを整備する等、学校とボランティアをつなげる仕組みを構築します。

### 2. 家庭・学校・地域の連携促進

家庭・学校・地域の連携を促進し、子どもたちを中心に人と人が豊かに関わる環境を整備します。

#### ● 部活動の地域移行【重点】

部活動の段階的な地域移行に向けた仕組みを新たにつくるとともに、外部指導者や地域ボランティア等を活用し、子どもたちがスポーツ・芸術文化活動に親しむ機会を確保できる持続可能な方策を検討・実施します。

#### ● 青少年健全育成の推進【重点】

青少年を健全に育成するため、地域や異年齢間との交流機会の拡大や体験活動の充実を図ります。

また、放課後や週末における安全・安心な居場所づくり、警察機関と連携した不審者情報の確認や地域パトロール、「こども110番の家」活動の支援等を行い、地域と連携した青少年の見守り活動や安全対策を推進します。

## 【対応するSDGs】



## 施策4 社会の一員として活躍する

### 【施策の方向性】

民主的で文化的な社会では、様々な立場の人がつながり、支えあい、自分の持ち味が発揮されます。地域の課題に目を向け、よりよい地域の未来を思い描くことを通して、自ら問いや動機を持ち、社会づくりに貢献する人を育成します。社会の持続的な発展に向けて、市民が学びの成果をいかし、生き生きと活動する学びの循環を目指します。

### 【成果指標の設定】

小学生・中学生

地域や社会をよくするために  
何かしてみたいと思う

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 78.3% 中学生 58.4%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

人の役に立つ人間に  
なりたいと思う

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 95.3% 中学生 94.7%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

地域の行事に  
参加している

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 57.4% 中学生 35.7%  
【全国学力・学習状況調査】

市民

地域のボランティアに  
参加したいと思う

< 現状値（令和4年度）>  
市民 56.6%  
【計画アンケート調査】

市民

地域人材の育成・活用は  
重要と思う

< 現状値（令和4年度）>  
市民 60.4%  
【計画アンケート調査】

## 【主な取組】

### 1. 社会参画意識の醸成

学習活動や学校行事、地域ボランティア等を通して、地域の一員としての意識を高めます。

#### ● 社会参画意識を高める学習活動の推進

身近な生活に目を向け、地域や社会への貢献について考える機会が充実するよう、各学校の学習活動を支援し、子どもたちのよりよい社会をつくろうとする意識の向上を図ります。

#### ● 地域活動への参画促進

まちづくりにつなげる視点から様々な学習機会を提供し、市民の主体的な学習活動を促進することで、地域づくりに貢献する多様な人材を育成します。

青少年補導委員連絡協議会の活動では、青少年と青少年補導委員が合同でパトロールや環境浄化活動を行うことで、補導活動の充実や社会参画意識の醸成を図ります。

### 2. 学びをいかす活動の推進

学びの成果をいかし地域のために貢献する人や活動する団体を支援します。

#### ● 地域に貢献する活動の推進

持続可能な地域づくりを促進するため、地域のために活動する団体を支援し、学習で得た成果を地域の活動へ還元する仕組みづくりを進めます。

## 【対応するSDGs】



## 施策5 多面的な視野を身に付ける

### 【施策の方向性】

変化が連続する社会の中で活躍するためには、これまでの常識や概念にとらわれな  
い新たな発想を生み出す力が求められます。自分の考えを持ち、異なる立場を理解し  
て、幅広い視野で物事を考えることができる人を育成します。外国語教育や情報教育  
等、多面的な視野を育む学習の充実を図ります。

### 【成果指標の設定】

#### 中学生

CEFR\*のA1レベル相当以上を  
達成している

< 現状値（令和4年度）>  
中学生 61.5%  
【点検・評価報告書】

#### 小学生・中学生

タブレットを使って  
知りたい情報を調べることができる

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 83.5% 中学生 91.9%  
【計画アンケート調査】

#### 小学生・中学生

プレゼンテーションソフトを使って  
発表資料を作ることができる

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 42.5% 中学生 61.0%  
【計画アンケート調査】

#### 小学生・中学生

外国の人と友達になったり  
外国のことをもっと知りたいと思う

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 71.8% 中学生 65.3%  
【全国学力・学習状況調査】

\*CEFR（セファール）：外国語の習熟度や運用能力を測る国際的な指標。ここでは、英語科目において  
を指標としており、A1レベルは英検3級相当。

## 【主な取組】

### 1. 外国語教育の推進

子どもたちがグローバル化する社会で活躍するためのコミュニケーション能力の基礎を育成します。

#### ● 義務教育9年間を見通した連続性のある外国語教育の推進

全ての小学校を教育課程特例校とし、「四街道市小学校外国語科指導基準」に基づき、小学校1年生から「外国語科」の授業に取り組み、外国語教育における円滑な小中接続を推進します。

外国語指導助手を派遣するとともに、小学校低学年においては市独自に採用した教材を活用する等、発達段階に応じた学習の充実を図ることで、英語によるコミュニケーション能力を育成します。

### 2. 情報教育の推進

高度情報化社会を生きるために必要な知識・技能や情報活用能力の習得を図ります。

#### ● 情報リテラシー\*教育の推進

I C Tを利用し、主体的に情報を収集・活用・発信する能力を身に付けるため、I C T機器の効果的な活用や情報モラルの学習機会の充実を図り、情報リテラシー教育を推進します。

小中学校で情報活用能力を育成するために、I C T支援員\*の配置、教職員研修体制の整備、G I G Aスクール構想に基づく学習環境の充実を支援します。

#### ● 情報格差対策の推進

新しい技術の活用について、デジタル・ディバイド\*が生じないように、情報活用能力を習得するための学習機会の提供に取り組みます。

\*情報リテラシー：情報を主体的に利用する能力のこと。情報の利用には、情報の探索、評価、利用、発信といった一連のプロセスが含まれる。

\*I C T支援員：教育におけるI C Tの活用を支援する役割を持った人材のこと。主な業務は「授業支援」「校務支援」「機器やネットワークなどの環境支援」「校内研修支援」など。

\*デジタル・ディバイド：デジタル技術を使える人と使えない人の間に生じる格差。

### 3. 国際理解教育の推進

多様な他者との交流を促進し、様々な国の文化的背景等の理解を深めます。

#### ● 異文化交流の促進【重点】

国際的な視野を広げ、世界に対する興味・関心を高めるため、自国や他国の文化を学ぶ機会や体験的な活動を推進するとともに、外国にルーツを持つ人や世界で活躍する人と交流する機会を創出します。

#### 【対応するSDGs】



## 基本目標3

# 「つなぐ」人づくり

### 施策6 郷土の自然や歴史を大切にする

#### 【施策の方向性】

四街道には、開発された市街地と変わらず生き続ける自然が共存し、郷土の歴史が刻まれた貴重な地域遺産が多数存在します。四街道の自然や歴史を学び、ふるさとに親しみと愛着を持ち、大切にする人を育成します。市民が郷土の魅力を実感できるよう、地域の自然や歴史にふれる学習機会の充実を図ります。

#### 【成果指標の設定】

小学生・中学生

自然の中で遊ぶことや  
自然観察をすることがある

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 67.8% 中学生 54.6%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

四街道の歴史や文化に  
興味がある

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 47.8% 中学生 21.2%  
【計画アンケート調査】

小学生・中学生

四街道を「ふるさと」と  
感じている

< 現状値（令和4年度）>  
小学生 72.3% 中学生 64.1%  
【計画アンケート調査】

小学生・中学生

日本や住んでいる地域のことを  
外国の人に知ってもらいたいと思う

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 74.2% 中学生 59.6%  
【全国学力・学習状況調査】

市民

四街道の歴史や文化に  
興味がある

< 現状値（令和4年度）>  
市民 42.3%  
【計画アンケート調査】

## 【主な取組】

### 1. ふるさとへの愛着の醸成

地域の自然や歴史、その中で育まれた食にふれる体験的な学びを通して、郷土を大切に思う心を育てます。

#### ● 地域の自然にふれる活動の推進

郷土の自然を肌で感じ、大切に思う心を育むため、地域との協働による四街道の自然を利用した遊びや観察会等の体験的な活動の充実を図ります。

#### ● 地域の歴史にふれる活動の推進

郷土の歴史を学び、大切に思う心を育むため、歴史民俗資料室や文化財等を活用した、地域の歴史に関する学びを推進します。

図書館では、多様な郷土資料を収集し、市民がふるさとに関心を持ち、深く理解できるように学習環境を整備します。

#### ● 地域の食材にふれる活動の推進

地場産物を使用した学校給食等を通して、郷土料理、伝統的な食文化、世界の様々な食等にふれることで、子どもたちが郷土を見つめ直し、地域への愛着を育むことができる「知産知消\*」の取組を推進します。

### 2. 歴史民俗資料施設の整備

郷土の歴史を学べるよう、歴史民俗資料を展示する施設を整備します。

#### ● 歴史民俗資料施設整備の推進

地域の文化財や風習、伝統文化に関する資料等の展示を通して、郷土の歴史にふれ、学習できる場の整備を推進します。歴史資料等の活用に関して、文化センターの一部に専用スペースを設け、様々な企画展示に取り組みます。

## 【対応するSDGs】



\*知産知消：地域でつくられた食物を地域で消費するという「地産地消」に加え、その食物の産地を知り、消費のされ方を知る取組。

## 施策7 伝統文化を継承する

### 【施策の方向性】

地域の文化は、人々の生活の営みの中で生まれ、受け継がれてきたものです。四街道の歴史を未来につなぐため、郷土の伝統文化を継承する人を育成します。文化財等の保護・保存・管理を図るとともに、四街道の歴史や伝統文化に関する情報の発信に取り組めます。

### 【成果指標の設定】

市民

伝統文化・地域遺産の継承は  
重要と思う

< 現状値（令和4年度） >  
市民 52.5%  
【計画アンケート調査】

## 【主な取組】

## 1. 伝統行事の継承

地域に伝わる伝統行事の保存・継承を支援します。

## ● 伝統行事保存団体の支援

先人がつくり上げた伝統文化を後世に引き継ぐため、伝統行事である内黒田はだか参り、和良比はだか祭り、亀崎ばやし、栗山ばやし等の活動を支援します。

## 2. 文化財の継承

地域の文化財を適切に保護・保存・管理します。

## ● 文化財の保存

郷土の歴史及び文化に対する市民の理解と関心を深めるため、史跡にふれあう歴史広場として、堀込城跡広場、物井古墳広場、古屋城跡広場を管理します。

また、市内に残る文化財の散逸や消失を防ぐため、適切な保護・管理を行います。

## ● 埋蔵文化財包蔵地の保護

埋蔵文化財を適切に保護するため、埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に対し、開発事業者への指導を行います。また、発掘調査の成果をまとめ、報告書を作成・刊行することで記録保存を行います。

## 3. 市史編さんの推進

郷土の歴史や伝統文化を調査・研究し、冊子等にまとめ発行します。

## ● 市史の刊行

郷土に対する理解と関心を深め、郷土愛を育むため、旧町村・市域に関する歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を刊行します。

また、人々の諸活動を記録した地域史料を次世代へ引き継いでいくため、歴史的公文書や古文書、古写真、考古資料等を含む文化財、民俗、自然等の資料調査・収集・整理・保存を行います。

## 【対応するSDGs】



## 施策8 文化を創造する

### 【施策の方向性】

芸術文化やスポーツにふれ、自ら活動することは、心に潤いや安らぎを与え、生活を豊かにします。芸術文化やスポーツに親しみ、心も体もいきいきとさせる、自分なりの創造的な活動を楽しむ人を育成します。優れた芸術文化にふれる機会や、多様なスポーツに親しむ機会の充実を図ります。

### 【成果指標の設定】

<p>市民</p> <p>市民ギャラリーの 利用者数</p> <p>&lt; 現状値（令和4年度）&gt; 9,338人 【点検・評価報告書】</p>	<p>市民</p> <p>芸術公演等*の 入場者数</p> <p>&lt; 現状値（令和4年度）&gt; 1,641人（3事業） 【点検・評価報告書】</p>
<p>市民</p> <p>週1回以上 運動する</p> <p>&lt; 現状値（令和4年度）&gt; 市民 58.8% 【計画アンケート調査】</p>	<p>市民</p> <p>健康に不安を 感じていない</p> <p>&lt; 現状値（令和4年度）&gt; 市民 73.9% 【計画アンケート調査】</p>

\*芸術公演等：優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するために、市民団体との共催により実施する事業。  
郷土作家展、市民演劇公演、子どもミュージカル等。

## 【主な取組】

## 1. 芸術文化・スポーツ活動の充実

芸術文化やスポーツに親しむ機会を提供し、各種活動への参加促進を図ります。

## ● 芸術文化活動の充実【重点】

市民の創造的な文化活動を促進するため、優れた芸術文化を鑑賞・体験する機会や活動を行う場等を提供し、芸術文化に親しむ環境づくりを推進します。

また、幅広い世代の人が芸術文化にふれ、興味・関心を高めることができるよう、ICTを活用した取組を推進します。

## ● スポーツ活動の充実【重点】

市民の活力あるスポーツ活動を促進するため、小中学校の校庭や体育館を開放する等、気軽にスポーツに親しむ場の提供や環境づくりを推進します。

また、スポーツリーダーバンク制度\*の充実を図るため、指導者の確保・活用に取り組めます。

## 2. 芸術文化・スポーツ団体の活動の推進

芸術文化やスポーツ活動を活性化させるため、各種団体を支援します。

## ● 芸術文化団体の支援

地域に根差した芸術文化活動の活性化を図るため、市の芸術文化振興に取り組む各種団体の活動を支援し、創造的な文化活動を促進します。

## ● スポーツ団体の支援

地域スポーツ活動の活性化を図るため、市のスポーツ振興に取り組む各種団体の活動を支援し、健康や体力の向上につながる活動を促進します。

## 【対応するSDGs】



\*スポーツリーダーバンク制度：市のスポーツ活動の普及および発展のために技術・能力を提供しようとする意思のある人を発掘し、現在も活動している指導者のさらなる育成を行う制度。さまざまなニーズに応えられる指導者の登録及び紹介をする。

## 基本目標4

# 「輝きあう」人づくり

### 施策9 多様な価値観を認めあう

#### 【施策の方向性】

違いを認めあい、互いを支えあうことにより、誰もが自分らしく幸せに暮らすことのできる社会が実現します。自らを大切な存在として自覚し、自分とは異なる価値観を認め、他者を思いやり尊重することのできる人を育成します。道徳教育、人権教育、家庭教育を推進し、市民の多様性を尊重する意識の向上を図ります。

#### 【成果指標の設定】

小学生・中学生

自分には  
よいところがあると思う

< 現状値（令和5年度） >  
小学生 84.0% 中学生 79.3%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

いじめはどんな理由があっても  
いけないことだと思う

< 現状値（令和5年度） >  
小学生 96.4% 中学生 95.3%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

自分と違う意見について考えるのは  
楽しいと思う

< 現状値（令和5年度） >  
小学生 76.3% 中学生 76.1%  
【全国学力・学習状況調査】

小学生・中学生

人の気持ちがわかる人間に  
なりたいと思う

< 現状値（令和4年度） >  
小学生 94.0% 中学生 96.6%  
【計画アンケート調査】

市民

家庭教育は  
重要と思う

< 現状値（令和4年度） >  
市民 71.2%  
【計画アンケート調査】

## 【主な取組】

### 1. 命の教育の充実

立場や背景、価値観等の違いを尊重し、ともに生きる素晴らしさを実感できる豊かな心を育みます。

#### ● 道徳教育の充実【重点】

子どもたちの生命を大切に作る心や規範意識等、豊かな人間性や社会性を育むため、学校の教育活動全体を通して道徳教育の充実を図ります。

道徳科授業では、自らの考えを持ち、どのように解決していくかということを他者と関わりながら考え、議論する授業の実現に向けて、教職員への指導・助言や研修等を行います。

#### ● 人権教育の充実【重点】

市民を対象とした講座の開催や啓発等、人権教育を推進し、一人一人の人権に対する正しい理解と認識を深め、差別意識を解消し、人権意識の高揚を図ります。

また、学校では、教職員の人権意識の向上を図り、子どもたちの多様な価値観を認め、尊重する心を育む取組を推進します。

#### ● いじめ防止の取組の充実【重点】

「四街道市いじめ防止基本方針」に基づき、家庭・学校・地域が連携し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組を推進し、子どもたちのいじめを許さない姿勢を育みます。

また、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ対策調査会において、いじめ問題への対策を協議し、改善を図ります。

## 2. 家庭の教育力の向上

子どもの育ちの基盤である家庭教育の充実を支援します。

### ● 家庭教育の支援【重点】

子どもたちの健やかな成長を促し、豊かな人間性を育むため、家庭教育の充実を図ります。子育てや家庭教育への理解を深める機会として、地域・家庭教育学級や子育て学習講座を開催するとともに、ICTを活用したオンライン講座や動画配信に取り組み、保護者の学びを支援します。

### 【対応するSDGs】



## 施策10 互いの可能性を高めあう

### 【施策の方向性】

他者との豊かな関わりの中で様々な感性や考え方にふれることは、自身の能力や可能性を広げ伸ばします。互いのよさや可能性を見出し、ともに高めあう人を育成します。様々なニーズに応じた教育環境の整備や、多様な人々が豊かに関わりあう機会の充実を図ります。

### 【成果指標の設定】

#### 小学生・中学生

学校に行くのは  
楽しいと思う

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 85.0% 中学生 84.1%  
【全国学力・学習状況調査】

#### 小学生・中学生

困り事や不安がある時に先生や学校  
にいる大人にいつでも相談できる

< 現状値（令和5年度）>  
小学生 66.0% 中学生 64.0%  
【全国学力・学習状況調査】

#### 市民

市民文化祭の  
参加者数

< 現状値（令和4年度）>  
5,767人  
【点検・評価報告書】

#### 市民

ランニングイベントの  
申込者数

< 現状値（令和4年度）>  
461人  
【点検・評価報告書】

## 【主な取組】

### 1. 個の可能性を広げる学びの充実

互いのよさをいかし、一人一人が自分らしく輝くための学びを推進します。

#### ● 少人数教育の推進

市独自に少人数指導教員を配置し、子どもたち一人一人の実態に応じた指導の充実を図ることで、基礎基本の定着やわかる喜びと学ぶ楽しさを味わえる学習環境を整えます。

#### ● 日本語指導が必要な児童生徒支援の充実【重点】

学校の要請に応じて語学指導員を派遣するとともに、市国際交流協会と連携して日本語支援ボランティア派遣の体制を整備する等、必要な支援を行います。

また、異文化理解研修会や日本語指導研修会等を開催し、支援が必要な子どもたちへの段階的な日本語指導の進め方や異文化理解について知識を深めることで、教職員の指導力向上を図ります。

#### ● 特別支援教育の充実【重点】

一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行い、特別な支援を必要とする子どもの学校生活及び学習活動を支援するとともに、障がいのある子どもと障がいのない子どもが互いのよさを認めあい、ともに学ぶ仲間であることについて理解が深まるよう、インクルーシブ教育システム\*の理念に基づいて、交流及び共同学習\*の充実を図ります。

また、生涯にわたる切れ目ない支援を目指し、支援ネットワークの強化を図ります。

#### ● 不登校の子どもたちへの支援の充実【重点】

学校・家庭・関係機関等と連携しながら、安心して学習に取り組める居場所づくりや社会的自立に向けた取組を進め、子どもたち一人一人の状況に応じた支援の充実を図ります。また、不登校の子どもへの保護者への情報提供や相談対応を行い、保護者に寄り添った支援の充実を図ります。

教職員の研修や情報交換等の場として、サポートネットワーク会議を開催し、各学校が実態に応じた適切な対応ができるよう支援します。

\*インクルーシブ教育システム：人間の多様性の尊重等を強化し、障がいのある者が、その能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。

\*交流及び共同学習：障がいのある子どもと障がいのない子ども、あるいは地域の障がいのある人とがふれあい、共に活動する学習。相互のふれあいを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする交流の側面と、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の側面がある。

### ● 誰もが参加できるイベントの創出【重点】

芸術文化・スポーツ活動を中心に、みんなが輝きあうイベントの企画に取り組みます。

芸術文化活動では、市民文化祭において、多様な人が豊かな創造性や多様な芸術文化作品を楽しむことができる機会を創出します。

スポーツ活動では、スポーツ教室や体験会等において、パラスポーツを含むニュースポーツ\*を積極的に取り入れ、多様な人がふれあうことのできるスポーツイベントの開催を推進します。

## 2. 教育相談支援体制の充実

子ども、保護者、教職員からの多様な相談に応じるため、サポート体制の強化を図ります。

### ● 教育相談の充実【重点】

スクールカウンセラー\*やスクールソーシャルワーカー\*等の活用を推進し、子ども、保護者、教職員からの教育相談に対応します。

学校と家庭・関係機関等をつなぎ、チームで支援する体制づくりを進める等、教育相談の充実を図ります。

### 【対応するSDGs】



- 
- \*ニュースポーツ：年齢や体力、技術を問わず誰でも楽しめるレクリエーション性の高いスポーツ。
  - \*スクールカウンセラー：学校における教育相談体制の充実を図るため、また災害や事件・事故などの被害者である児童生徒等の心のケアを行うため、各学校に配置された心理の専門家。
  - \*スクールソーシャルワーカー：社会福祉の専門知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境（家庭、地域等）に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決に向けて支援する専門職。